



ぐるぎ+

## 佐原プロジェクト、勝負の夏!

### -「空き家は使われてこそ」の精神で実験店舗運営開始-

4月からスタートした佐原プロジェクトが準備期間を経て、ついに実践のステージに移行しました。工学院大学から引き継いだ古着屋を中心によりパワーアップした空き家活用の取り組みを紹介します。

### 「ぐるぎ+(ぶらす)」、いよいよ開店

text\_hiraoka

8月8日、佐原プロジェクトチームが運営する実験店舗「ぐるぎ+(ぶらす)」が開店しました!! 実験店舗の目的は、歴史的建造物の活用の可能性を探ること、佐原で遊ぶ・暮らす事の魅力を感じてもらえる場所を提供すること。古着屋を選んだ理由は、建物の活用と古い物のリサイクルをリンクさせ、古い物を大切にすることを伝えたいと考えたからです。ぐるぎ+という名前には、人や物が「ぐるぐる循環するように」という願いを込めました。

前日に佐原入りしたメンバーは、内装の組み立てや商品の仕分けとタグ付け、ポスター貼り、のれん作りなどなど、必死で準備。足りない部分はありながらも、なんとか開店にこぎつけました。どのくらいのお客さんに来てもらえるのか不安もありましたが、普段閉まっている店が開いていると目を引くようで、中をのぞいてくれる人や買ってきてくれる人もいて一安心。とりあえずは成功のようです。

しかし、本番はこれから。まだまだ改善の余地のある内装や商品の見せ方などに手を入れながら、11月まで続けていきます。

みなさんぜひ、遊びにきてくださいね。



▲ 実験店舗「ぐるぎ+」の外観



▲ 「ぐるぎ+」と「夢見るくら」の開店日・開放日

M2 鈴木 惇也

### 「夢見るくら」クイズラリー開催



▲ 「夢見るくら」の中村屋倉庫

去る8月22, 23日、佐原の小学生を集めてクイズラリーを行いました! 歴史的建造物『中村屋倉庫』の活用案を求める絵画コンテストの前フリとして、「中村屋倉庫で遊ぼう!」というものです。楽しみながら佐原や空き家問題について学べるというスグレモノ。中にはPhotoshop加工による修景前後イメージを比べた間違い探しという、超教育的問題も…。

自分としては進行が遅れてしまったり答え合わせしようにも答えが分からなかったりとたくさんの不備がありましたが、ナッタポンや地元の人々の協力、そして偶然に偶然が重なりなんとか終えることができました。多くの方から労いの言葉を頂きましたが、やはり何より嬉しかったのは子供たちの楽しそうな笑顔と『またやりたい!』という感想カードでした。次は絵画コンテスト!



(左から)  
・大勢の子供が集まりました  
・中村屋倉庫内の様子  
・窪田先生のお子さんも参戦

## 夏はワークショップが熱い!

-デザ研メンバー、各地のワークショップに参加-

今年もデザ研メンバーが夏休みを利用して各地のワークショップに参加しています。8月前半にあった2つのワークショップに参加した人からの報告です。

### 風景づくり夏の学校

～移動するまなざし:その体験と交流のデザイン～

M2 大道亮



7月31日から8月2日の日程で、しまなみ海道の四国側、波止浜を舞台として行われたワークショップ(WS)に参加してきました。このWS、風景づくり夏の学校という名前で毎年この時期に行われていて、今年で4回目です。

今回のテーマは「移動するまなざし:その体験と交流のデザイン」。この課題に、東京大学や愛媛大学、京都大学など7大学34人の学生が7つのグループに分かれて取り組みました。

真夏の日差しが照りつける中、山に登ったり、海に入ったり、島に渡ったり、祭に参加したり、蚊取り線香の煙立ちこめる町家議論したりと、非常に充実したWSライフを送ることができました。最終日には西村先生も登場し、文化的景観に関するレクチャーやWSの講評をしていただきました。

同分野・年代の人々とともに議論や作業をできたのはやはりWSならではの体験。刺激たっぷりの3日間でした。

### 出雲神迎の道地区等:建築・環境・再生ワークショップ 「City Switch 2008:: 出雲 まちを元気にする技術」

text\_fujii

8月3日から9日にかけて行なわれた出雲ワークショップに途中から飛び入りで参加してきました。このワークショップは東大の大野秀敏先生を筆頭に日本各地の大学・高等専門学校及び、オーストラリア・シドニー工科大学の先生、学生が参加し、出雲大社への歴史的な参道である『神迎の道』、伝統的な町並みの残る『木綿街道』、町のシンボリックな水空間である『高瀬川』を対象として行なわれました。出身地である神迎の道のグループに参加し、元住民かつ都市デザインを専攻する学生という立場で議論しました(たぶん)。地元のことを建築を専攻する他の大学・高専の学生達と熱心に議論できたことは大変貴重な体験となりました。途中参加という立場でありながら快く迎えてくれた皆様、本当にありがとうございました。

今度帰省したときは、町並みを考えている地元住民の方々とも話してみたいと思います。



## 堂々のB4、湯立坂の発表

-「湯立坂・銅御殿の景観」シンポジウム-

D3 中島伸



夏真っ盛りの8月9日に、お茶の水女子大学にて、シンポジウム「湯立坂・銅御殿の景観」が行われました。都市デザイン研究室から、窪田准教授、中島助教が登壇し、学部のオムニバス演習の成果「湯立坂を考える—地域の景観から」として、学部生(大熊君、鈴木君、永野君)から発表が行なわれました。

現在、重要文化財である東京小石川旧磯野邸・銅御殿は隣接地のマンション建設を巡って住民運動が起こっており、当日は東大建築学科鈴木教授司会の下、「銅御殿を守る会」をはじめ、千葉大学園芸学部藤井教授、赤松教授、女優村松英子さんと豪華なラインナップで、景観に関する専門的な議論から、今後の住民運動のあり方、都市計画の役割など活発な議論が行なわれました。

(銅御殿における住民運動については下記URLをご参照下さい。  
<http://www.geocities.jp/akaganegoten/>)

## マガジン編集部出張@白金

text\_kakibaya

編集部初の出張会議が、8月20日、港区は白金台で行われました。“なんちゃってシロガネーゼ”の編集長と4人の編集委員がテラス席でランチバイキングを楽しみながら、しかし14号館9階で行うのと変わらない、いつもと同じ編集会議が開かれました。その後のまちあるきでは、残暑が厳しく、メイン通りのプラチナストリートも人通りもまばらで夏季休業中のお店もちらほら…。それすらもさすが白金(?)という雰囲気味わえていたようで、よかったです。(ぜひみなさん、白金に遊びに来てくださいね!)

### 都市デザイン研究室 8月～9月前半の予定

8月27日-31日	高山現地調査
9月2日	川崎興太氏勉強会
9月9日-12日	足助現地調査

### 編集後記

text\_kikuchibara

夏休みの中真ん中の発行で、今号は正直記事が少なくて悩みました(最後の記事は、完全に内輪ネタですね...)。でも個人的にこの2週間は研究室関連の話題が豊富で、「編集後記特集」にしようか一瞬悩んだくらいです。例えば3ヶ月近く遅れていたサーバー移設がようやく終わりました。サーバー上でファイルを開いてもサクサク動くのは、非常に快適です!それと、研究室メンバーと深夜のノリで行った朝帰り温泉旅行は、いかにも夏休みって感じでした。悪ノリに付き合ってくれた永瀬さん、ありがとうございました。そして、喜多方メンバーのみなさん、ミーティングに支障をきたして、すみませんでした><